

サイバーインシデントの近年の傾向とインシデント発生時の具体的な損害額イメージ

2025年 12月 18日

損害保険ジャパン株式会社

モビリティ第一部 営業第一課

1.サイバーインシデントの近年の傾向とインシデント発生時の具体的費用イメージ

2.部工会団体サイバー保険制度につきまして

1.サイバーインシデントの近年の傾向とインシデント発生時の具体的費用イメージ

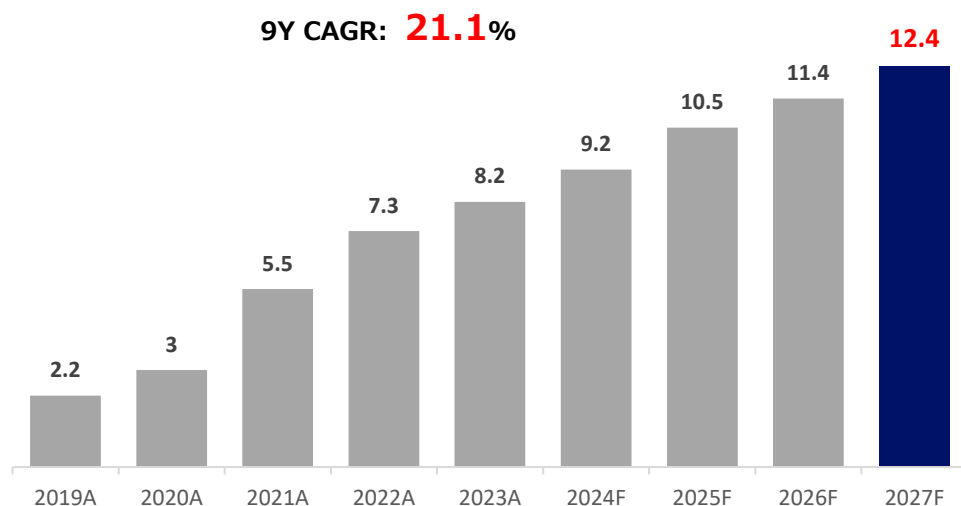
2.部工会団体サイバー保険制度につきまして

サイバーインシデントの傾向

- サイバーインシデントによる被害額は過去9年で年平均**21.1%**増加しており、被害額は年々増大しています。
- サイバー攻撃のビジネス化が急速に進んでいることから、ランサムウェアによる被害が深刻化しており、過去5年で**1,281%**上昇しています。
- 製造業はサプライチェーンがあること、システムが老朽化していることを背景に**ハッカーに最も狙われている業界の1つ**となっておりますので、今後、更なる対策を講じる必要がございます。

世界のサイバーインシデントにおける被害額推移

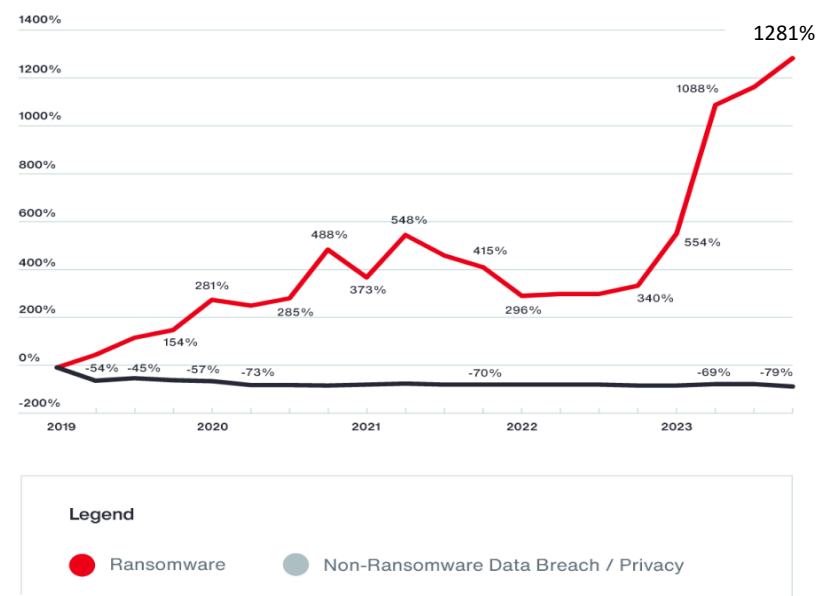
Unit: USD, Tr



出典：AON 2024/4/19 U.S. Cyber Insurance Market Trends and Opportunities

世界のサイバーインシデント数推移

Cyber Incident Rates



* 2019年を0とした場合の図

1-2. サイバーインシデントの傾向と影響

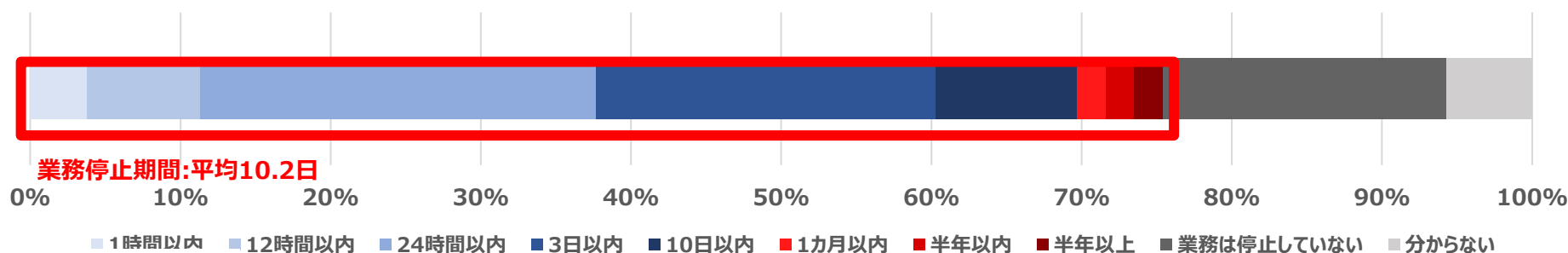
被害傾向

- 過去3年間に被害に遭った企業*は保険契約の有無に関わらず**56.8%**となっており、多くの企業が被害を受けています。
- 特にランサムウェアによる被害が発生した場合は、企業の業務停止リスクが高くなる傾向にあり、国内では平均10.2日もの間、事業が停止するほどの影響を受けています。例えば受発注システムが利用不可となった場合、受発注業務を全て手作業で対応する必要が発生し、多額の遺失利益が発生すると考えられます。

過去3年にサイバーインシデント被害に遭った国内企業*の割合



ランサムウェアによる業務停止期間比較



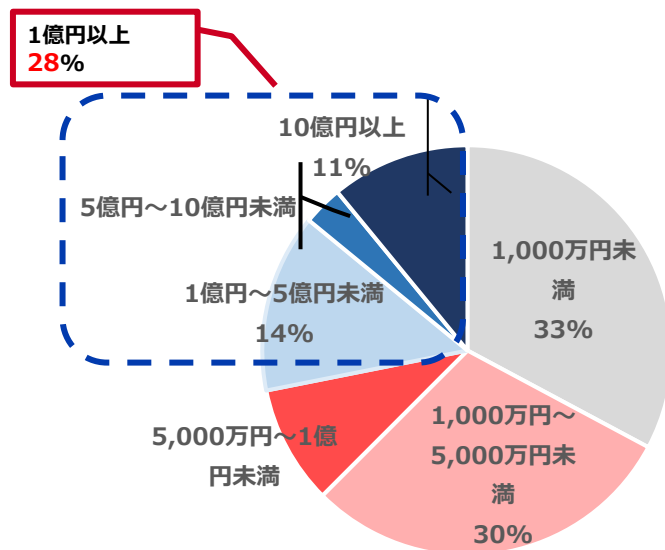
出典:Trend Micro
* 500名以上の企業を対象

1-3. サイバーインシデント発生時の被害額イメージ

- サイバーインシデントが発生した際、約**28%**の企業が**1億円**以上の損害、約**10%**の企業は**10億円**以上の被害を受けており、経営に極めて大きな影響を与えることがわかっています。
- 当社の製造業のお客様においても、約**7億円**という高額支払事例が発生しています。

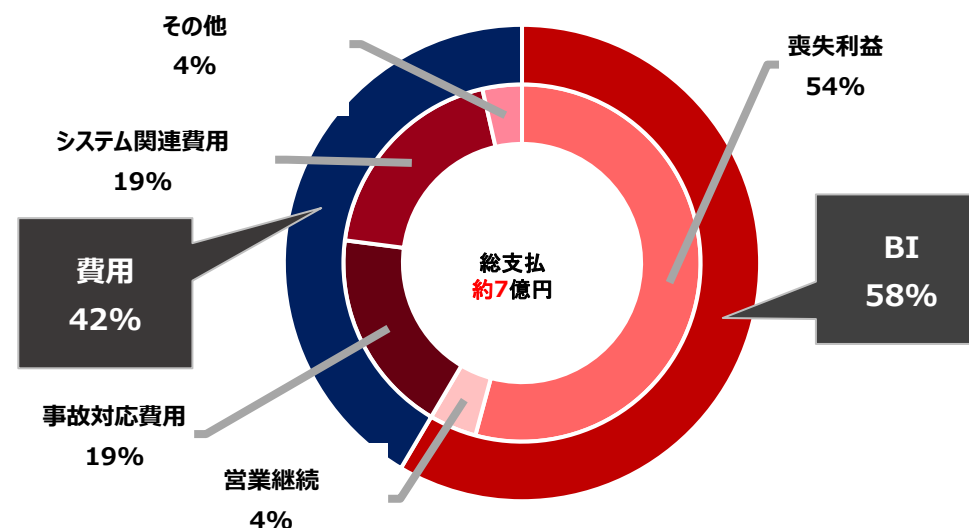
サイバー攻撃の実際の被害額割合と実際の支払事例

サイバー攻撃の実際の被害額割合



出典：Trend micro
* 不明分の56社を除き当社独自作成

実際の当社支払事例：連結売上高800億円



1-4. サイバーインシデント発生時によく発生する費用

- サイバーインシデント発生時にはフォレンジック調査が実施されることが多く、その費用のみで約1,000万円～2,000万円かかるケースが多く報告されています。
- ランサムウェアの被害に遭うと、システムへの被害が甚大化し、システム復旧費用だけで1億円を超える事例も実際に発生しています。

サイバーインシデント発生時によく発生する費用

費用	項目	単価(千円)	備考
	フォレンジック調査	PC1台あたり 約2,500千円	約10,000千円～20,000千円が相場 PC1台あたり、約2,500千円の費用が発生。
	コンサル費用	1か月あたり 約2,000千円	事故の対応にあたって、1か月2,000千円が相場。 一方、被害が甚大な場合、約4,000万円の支払事例あり。
	システム復旧費用	サーバー1台あたり 約3,000千円	ランサムウェアによる被害が甚大な場合、多額のシステム復旧費用が発生する可能性あり。 過去には1.3億円の支払事例あり(売上高：約700億円規模の企業)。 企業毎にシステム規模が異なるため、企業のベンダーに想定被害額を確認することを推奨。 サーバー1台あたり、約3,000千円が相場。
	事故対策費用		数百万円～数千万円が相場。
	コールセンター費用		約10,000千円～20,000千円が相場 20,000千円の場合、オペレーター10席程度。

1.サイバーインシデントの近年の傾向とインシデント発生時の具体的費用イメージ

2.部工会団体サイバー保険制度につきまして

特徴

概要

保険料水準

- 団体制度ならではの**スケールメリット**を生かした**割安な保険料水準**となっております。

保険期間




- 2025年4月1日（午後4時）～2026年4月1日（午後4時）
- 中途加入も可能です。
- 中途加入の場合、毎月20日締切で翌月1日（午後4時）～2025年4月1日（午後4時）でご加入が可能です。

損保ジャパン サイバー保険のメリット

- 充実した付帯サービス：**緊急時サポート総合サービス(無料)**
- 費用保険金の補償範囲：サイバー事故時の費用保険金の内容が充実

2-2. サイバー保険の補償内容：（１）商品構成

- サイバー保険では、以下のそれぞれの事由に対して３つの損害を包括して補償します。
- サイバーセキュリティ事故による事故はボーダーレスのため、全世界で発生した事故や損害賠償請求が補償対象です。

	賠償責任	下表記載の対象事由①～④の発生に起因して他人に損害を与えた場合の賠償責任・争訟費用の補償
	事故発生時の 各種対応費用	下表記載の対象事由①～④の発生に起因して生じる「事故の調査」から「解決/再発防止」までの諸費用の補償
	利益・営業継続 費用	下表記載の対象事由③または④に起因したネットワークの中断などによる喪失利益や営業継続のための費用の補償

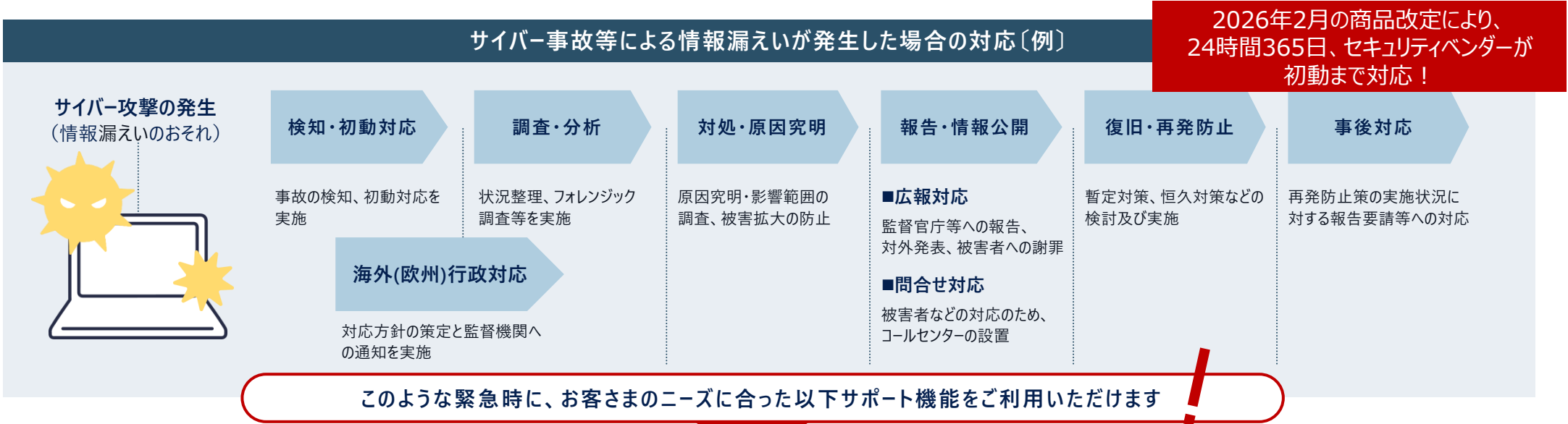
オプション

対象事由	概要
①情報漏えい・おそれ※	貴社（被保険者）の業務における情報漏えいおよびそのおそれ
②デジタルコンテンツ不当事由※	デジタルコンテンツの使用の結果生じた名誉棄損、プライバシー侵害、著作権または商標権侵害など
③サイバー攻撃	貴社（被保険者）のコンピュータシステムに対する不正なアクセスや処理、操作、犯罪行為など
④ITユーザー業務	上記①～③以外の貴社（被保険者）の業務の一環としてのシステムの所有、使用または管理に起因する偶然な事由

※利益・営業継続費用では対象となりません。

2-3. 緊急サポート特約につきまして

- SOMPOリスクマネジメント(株)が**事故対応に関する必要なサポート機能をコーディネート**し、提携する専門事業者のサービスを通じて、緊急時におけるお客さまの被害拡散防止・早期復旧等を支援します。(サービスの適用地域は、日本国内に限られます)



主なサポート機能	概要	サポート機能提供会社
■ コーディネーション機能	● 必要となる各種サポート機能の調整 ● 事故対応窓口との連携・アドバイス etc	SOMPOリスクマネジメント(株)
■ 調査・応急対応支援機能	● 事故内容の精査 ● 原因究明・影響範囲調査支援 ● 被害拡大防止アドバイス etc	SOMPOリスクマネジメント(株) / (株)ラック
■ 緊急時広報支援機能	● 記者会見実施支援 ● 報道発表資料のチェックや助言 ● 新聞社告支援 etc	ブラップコンサルティング(株)
■ コールセンター支援機能	● 事故に関し信用を毀損するSNS投稿等への対応支援 ● WEBモニタリング・緊急通知 etc	(株)エルテス
■ 信頼回復支援機能	● コールセンター立上げ ● コールセンター運用 ● コールセンターのクロージング支援 etc	(株)ベルシステム24
■ GDPR対応支援機能	● 再発防止策の実施状況等について報告書を発行 etc	(一財)日本品質保証機構 / BSIグループジャパン(株)
	● GDPR対応に要する対応方針決定支援 ● 監督機関への通知支援 ● 協力弁護士事務所の紹介 etc	(株)インターネットイニシアティブ

※本サービスは、サイバー保険で保険金がお支払いできる場合にご利用いただけるサービスです ※各サポート機能提供会社にお支払いいただく諸費用は、サイバー保険でご契約している保険金額を上限に保険会社から保険金として貴社へ支払われます。なお、諸費用は保険金の支払い対象外となる場合があります。支払い可否については担当保険金サービス課へご確認ください。 ※本サービスは、ご利用を希望する規模や期間等により、対応ができない場合があります

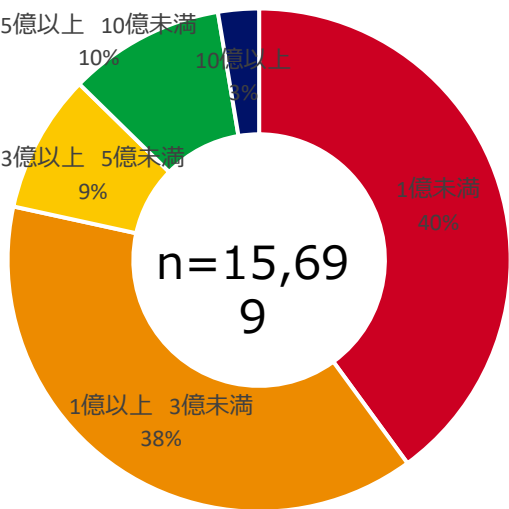
保険金額設定事例（事故対応特別費用の保険金額*1）

- 売上高500億円を超える企業の場合、最も支払頻度の高い事故対応特別費用の平均保険金額は約5億円となっており、売上高規模が大きい企業ほど、高額な保険金額を設定している事例が多い傾向にあります。
- 会社の規模が大きいほど、被害額も大きくなりやすいため、規模に応じた保険金額の設定が必要です*2。

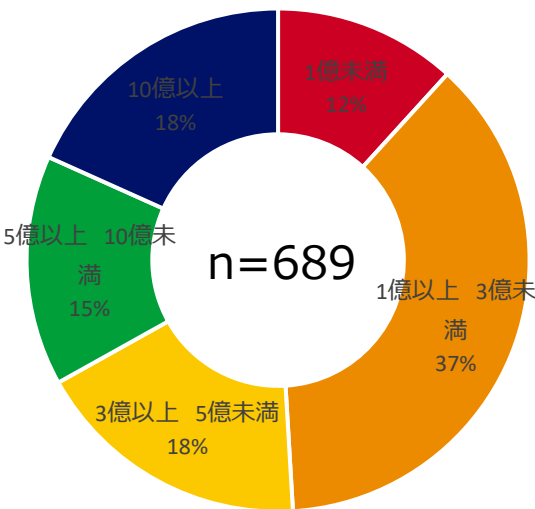
売上高100億円未満

売上高100億円～500億円

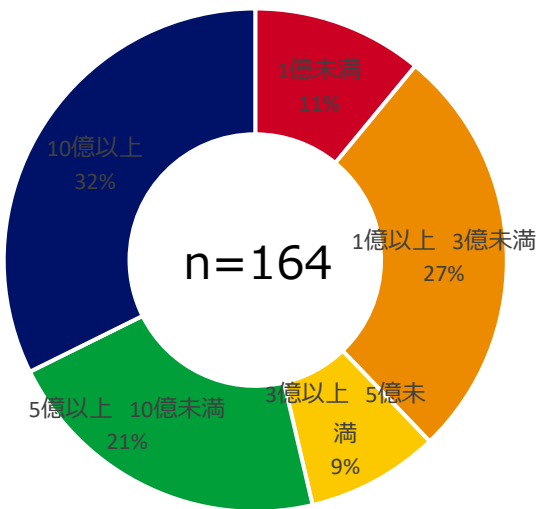
売上高500億円～1,000億円



平均保険金額：約163,000千円



平均保険金額：約402,000千円



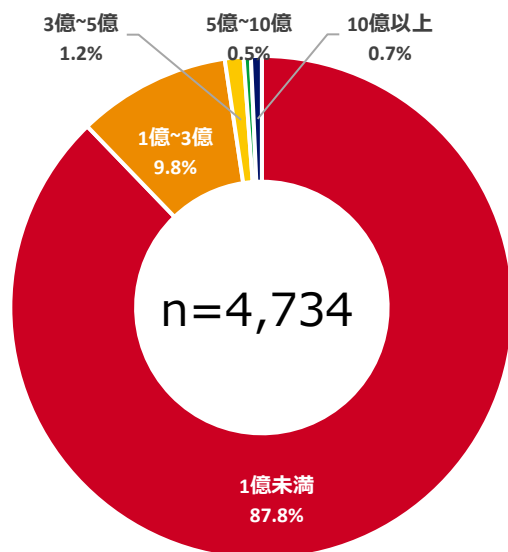
平均保険金額：約501,000千円

出展：損害保険ジャパンのサイバー保険の契約実績に基づいて算出
*1 一部の業種に限定しています。
*2 告知書の内容によってはご希望に沿えない可能性があります。

保険金額設定事例（事故対応特別費用の保険金額*1）

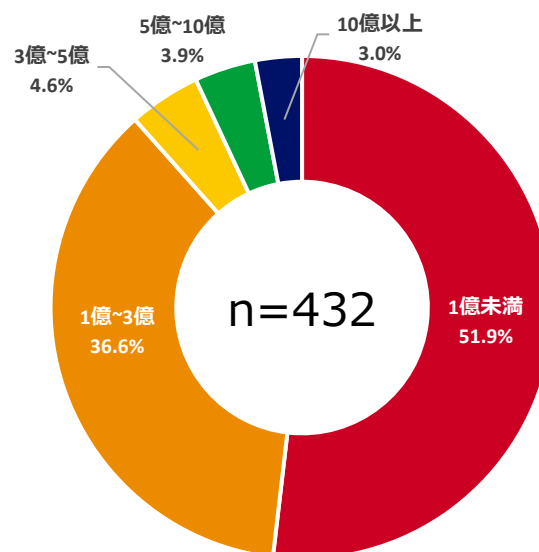
- 売上高500億円を超える企業の場合、最も支払頻度の高い事故対応特別費用の平均保険金額は3億6,000万円となっており、売上高規模が大きい企業ほど、高額な保険金額を設定している事例が多い傾向にあります。
- 会社の規模が大きいほど、被害額も大きくなりやすいため、規模に応じた保険金額の設定が必要です*2。

売上高100億円未満



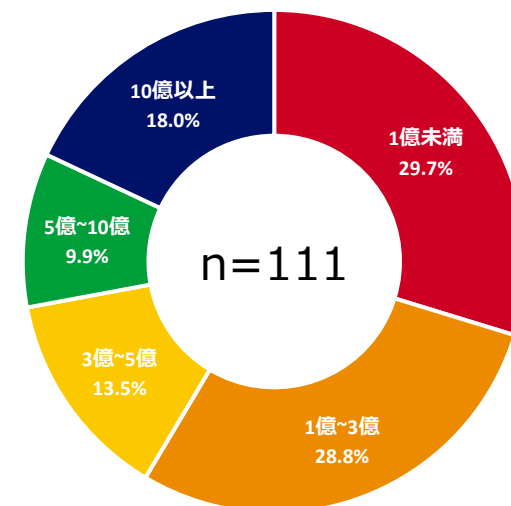
平均保険金額：約49,000千円

売上高100億円～500億円



平均保険金額：約120,000千円

売上高500億円～1,000億円



平均保険金額：約360,000千円

出展：当社のサイバー保険の契約実績に基づいて算出

*1 一部の業種に限定しています。

*2 告知書の内容によってはご希望に沿えない可能性があります。

- 企業の規模、補償内容、告知内容によって異なりますが、月々数万円程度からご検討いただけるケースもございます。
- 利益補償を追加されますと保険料は数倍に程度になりますが、ランサムウェア被害の場合、事業停止リスクを考慮すると、利益補償のご検討も併せてお勧めいたします。

売上高毎の保険料イメージ

NO	売上高	保険金額				年間保険料 (円)	月額参考保険料 (円)
		賠償	費用	利益	利益 てん補期間		
1	10億円	10億円	1億円	-	-	140,230円～305,380円	11,690円～25,450円
2				1億円	1か月	384,230円～837,380円	32,020円～69,780円
3	50億円			-	-	270,190円～588,420円	22,520円～49,040円
4				1億円	1か月	987,190円～2,150,420円	82,260円～179,200円
5	100億円			-	-	376,220円～819,310円	31,350円～68,270円
6				1億円	1か月	1,448,220円～3,154,310円	120,690円～262,860円

*告知内容によっては、上記保険料と異なることもございますので、ご参考程度としていただけますと幸いです。
本契約は年払になるため、月額保険料はご参考用となります。

